

●産業の振興と雇用の
確保の推進

「地域資源をいかす」「独自技術をもつ」といった、特色ある、足腰の強い産業を育成・創出。雇用の場を確保。

●都市との交流による
地域活性化の推進

都会の方々にとっても和歌山県が新たなふるさととなる「新ふるさとづくり」を推進。「観光地」として、和歌山県の魅力を高め、「都市から地方へ」という流れを拡大。

●最小不安社会の実現

東南海・南海地震対策などの防災体制の整備。治安体制の強化、安全・安心な農産物の供給や消費者の立場に立った食品の安全を確保するシステムの構築に取り組み、「安全・安心な県民生活」を確保。

●環境・美化社会の創造

NPOや県民、事業者等と連携しながら「資源循環型」社会への転換をめざすとともに、地球環境にも貢献する全国トップクラスの「環境先進県」を実現。

●健康で、心豊かな社会の
推進

すべての人が健康で生きがいをもって生活を送ることができる「自己実現社会」、子育ての支援や障害者の自立支援などで、ボランティア、NPOなどと積極的に連携する「県民による共助社会」、「すべての県民の人権が尊重される社会」を推進。

●人づくり・教育改革の推進

学校において確かな学力を保障するとともに、学校・家庭・地域が一体となって心豊かでたくましい子どもを育てる環境づくりの推進。生涯を通じてともに学び合い、育ち合える生涯学習社会を実現。

●未来に続く県土づくり・
まちづくりの推進

工事のコスト面からの見直しや地方の実情にあった公共事業を行うなど、「選択と集中」をキーワードに、真に必要な「公共事業」への重点化。生活者の視点に立った快適な生活環境づくり、誰もが暮らしやすく心優しい社会を創るという「ユニバーサルデザイン」を生かしたまちづくり、美しい街並みの景観を保全。

安心・活力あふれる
和歌山づくり

県民の皆さん、木村良樹です。

このたび、ご信任をいただき、引き続き和歌山県知事として県政を担うことになりました。その責任の重さを感じ身の引き締まる思いです。

私は、これまでスピード感あふれる「改革の県政」をめざし、県民の皆さんや内外の有識者からいただいた意見を積極的に取り入れるとともに、徹底した情報公開を行い、開かれた県政に取り組んできました。和歌山の個性と魅力をいかした施策を進め、「高野・熊野」の世界遺産登録も実現できました。また、都市との交流を進める「緑の雇用」、地元が真に求める「1.5車線道路」など、和歌山から日本を変えようとする「和歌山モデル」を果敢に実践し、国にも認められるなど着実な成果をあげてきました。

これからも、さらに創意と工夫をこらした独自の発想による「改革と発展」の県政を進め、自立した地域経済への転換や新ふるさとづくりを推進し、安全で安心な県民生活を確保する県政に取り組んでいきます。

皆さん、私と一緒に安心して活力あふれる和歌山をつくっていきましょう。

東南海・南海地震 対策特集

稲むらの火から
安政の南海地震へ(1854年)
150年

地震は、ある日突然わたしたちを襲い、大きな被害をもたらします。

平成7年に発生した阪神・淡路大震災では、6,433人もの尊い命が失われました。

東南海・南海地震は、今世紀前半にも発生する可能性があり、和歌山県を含む非常に広い範囲に大きな被害をもたらすおそれがあります。

「防災(地震)」に関する県民意識調査」でも、地震に対する関心は、ますます高くなってきているものの、地震に備えて食料などを備蓄している人は、まだまだ少ないのが現状です。

9月1日は「防災の日」。皆さんもぜひこの機会に、地震災害に備え、対策を考えてみてください。

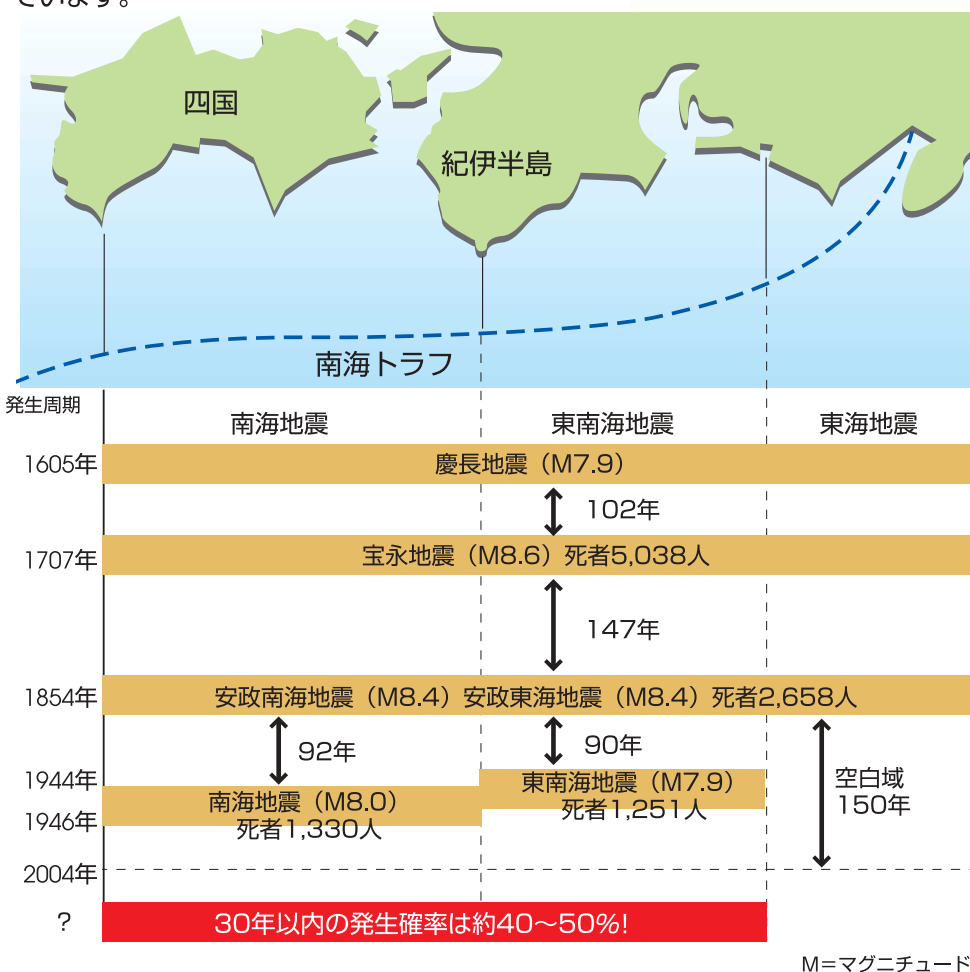
村人を救った「稲むらの火」

濱口梧陵(1820～1885:初代和歌山県議会議長)は、安政元年(1854)の安政南海地震の時、広村(現広川町)を襲った大津波を村人に急報するため、自分の田に積んであった稲むらを燃やし多くの命を救いました。

いつおこるのか?

和歌山県の南側には広大な太平洋が広がり、黒潮の流れは暖かい気候と豊富な漁業資源を運んでくれます。しかし海底には南海トラフという海溝が存在し、その地殻変動による巨大地震は、歴史的に100年から150年の間隔で繰り返し起こり、大きな被害をもたらしました。

平成13年9月、国の地震調査研究推進本部から東南海・南海地震の長期的な発生確率の評価が発表されました。それは今後30年以内に南海地震が発生する確率は40%、東南海地震が50%、今後50年以内では80～90%という高い確率となっています。



9月26日(日) 和歌山県防災総合訓練を実施

本県を中心に非常に大きな被害を及ぼす地震の発生を想定し、消防、警察、自衛隊、ボランティア団体などが合同で実践的な様々な訓練を行います。

また、起震車体験コーナーや災害対策車の展示等もありますので、ぜひ見学にお越しください。

日時 9月26日(日) 9:00～12:00

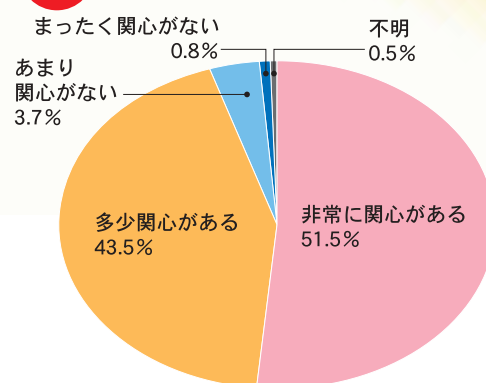
場所 有田市宮原町「ふるさとの川総合公園」



防災(地震)に関する県民意識調査

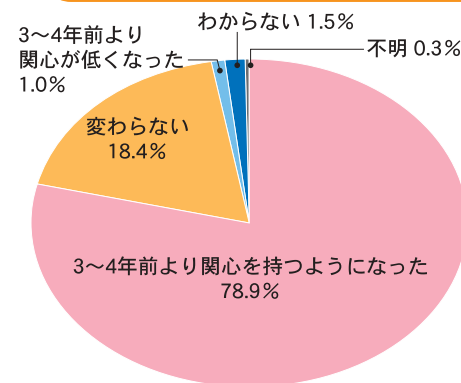
(平成16年1月実施)

質問 あなたは東南海・南海地震にどの程度関心を持っていますか?



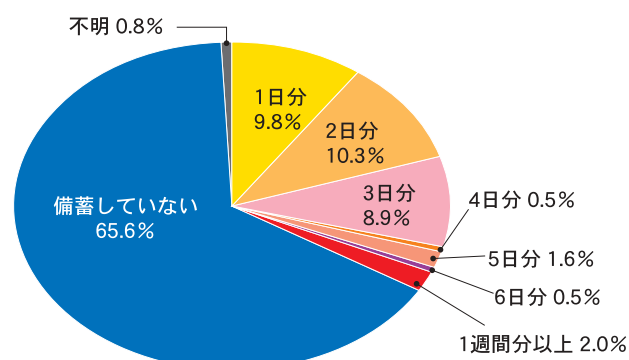
●「非常に興味がある」という回答が過半数を占めました。「多少興味がある」という回答を含めると、95%が「関心あり」との回答です。

質問 あなたは東南海・南海地震に対して、3～4年前と比べて関心を持つようになりましたか?



●「3～4年前より関心を持つようになった」という回答がおよそ80%を占めました。

質問 非常持ち出し用の食料は、最低でも3日分を備えるように言われていますが、あなたの家庭では地震に備えて非常持ち出し用の食料を何日分備蓄されていますか?



●「備蓄していない」という回答が3分の2強を占めました。食料備蓄といっても難しく考えず、缶詰、レトルト食品、カップめん等を多めに買い置きしておくなど使い回しのきく方法で「無理なく」がコツです。

共助 地域では・・・

「自分たちのまちは自分たちで守ろう」自主防災組織

災害発生時には、出火の防止、初期消火、避難誘導、被災者の救出・救護など自主的な防災活動が何よりも大切です。こうした初期の災害への対応に威力を発揮するのが、地域の人々がつくる自主防災のための組織です。

その多くは、町内会や自治会などの既存の組織を活用して結成されています。県内の自主防災組織の組織率は、56.6%（平成15年4月現在）で、まだまだ十分であるとは言えません。

県では、自主防災組織の結成や活動強化のため、組織づくりの参考となるハンドブックの作成、資機材整備に対する助成や防災リーダー養成のための研修会開催など積極的に支援していきます。



自主防災組織づくりへ向けた取り組み



橋本市の城山台連合自治会では、自治会内に「自主防災検討委員会」を設置して、自主防災組織づくりに向けた検討を行っています。同会の山崎修さんは、自主防災組織づくりについて次のように話してくれました。

「この地域は活断層が近くにあり、家屋倒壊など大きな被害が想定されます。『災害発生時、公的な支援があるまでの間、自分たちでどのようにして生き延びるか』を考え、自主防災組織づくりに向けた検討を始めました。これまで、県の出前講座を聴いたり、検討会議を毎月開催し、活動計画の作成や自主防災ニュースを作成して全世帯に回覧するなど、組織づくりに向けた準備を進めています。」

企業防災の取り組み－利用者の安全をどう確保するか－

白浜町のホテル・マーキーズでは、津波発生時における「避難誘導マニュアル」を作成するとともに、宿泊客用の食料や飲料水を高台の別館で備蓄しています。また、すべての客室には、携帯ラジオや懐中電灯等を納めた防災用ケースを備え付けています。



自助 家庭では・・・

☑ わが家の地震対策チェックリスト

- ☐ 自宅の耐震診断や耐震補強を行いましたか？
- ☐ 家具や食器棚が転倒しないように固定していますか？
- ☐ ガラスの飛散防止対策を行いましたか？
- ☐ 食料や飲料水を備蓄していますか？
- ☐ 災害発生時の家庭内の役割分担を決めていますか？
- ☐ 災害発生時の家族の行動を確認していますか？
- ☐ 非常持出品の準備はできていますか？

日ごろからの準備、心構えが大切です。

- 非常持出品を準備しましょう。
 - ・本格的な復旧活動は3日目以降と言われています。3日分の食料と飲料水を準備しておきましょう。
- 月に1度は家族で防災会議を開きましょう。
 - ・いざという時に慌てないように、役割分担などを決めておきましょう。
 - ・家族の安否確認や連絡方法は「N T Tの災害用伝言ダイヤル^{*}」を利用しましょう。
 - ^{*}災害用伝言ダイヤル…171番から、利用案内に従い伝言の録音、再生ができます。
- 家具などの転倒・落下防止を行いましょう。
- このほか、普段から地域・職場の防災訓練などに積極的に参加することが重要です。

地域社会がお互いを災害から守ることです。

共助

自助

県民一人ひとりが自分自身を災害から守ることです。

大規模災害の被害を最小限にするためには **自助** **共助** **公助** の備えが大切です。

国・県・市町村などの行政が住民を災害から守ることです。

公助

県では、これら3つの役割がそれぞれ自ら働くとともに、相互に連携し合う「防災協働社会」をめざしています。

公助 県では・・・

被害を最小限に減らす「和歌山県地震防災対策アクションプログラム」を策定

「東南海・南海地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法」が平成15年7月に施行されました。また、同年12月には、この法に基づく防災対策推進地域に県内全市町村が指定されました。

これにより、県では、県民の生命、財産、生活を守るため、これから実施すべき対策をアクションプログラム(行動計画)として策定しました。

このプログラムでは、「大地震に着実に備える」「災害発生時に迅速適切な対策を実施する」「復興を進め安全で安定した生活を構築する」を目標に、津波対策や耐震化対策など8つの重点テーマを軸として、具体的な個別事業を実施していきます。

(アクションプログラムの内容は県のホームページに掲載しています。)

県防災センターの整備

防災センターは、平成19年秋の本格稼働をめざし整備を進めています。その主な機能は、災害発生に備えて防災情報の一元化・高度化・共有化を図り、日頃から防災知識の普及・啓発を行う「総合防災情報システム」機能と、災害発生時に速やかに災害対策本部を設置し、迅速かつ的確に被害の状況を把握して復旧対策を実施する「災害対策本部」機能があります。



県庁の分館も兼ね、おおむね10階建ての免震構造の建物を計画しています。

「東南海・南海地震」出前講座 好評開催中

講座では、「地震のメカニズム・特徴及び地震対策について」をテーマに、図解や写真をまじえて解説します。また、「地域内での被害予想を知りたい」「津波の規模や家庭ですべき対策を知りたい」といった質問にも、具体的にお答えしています。

いつでも、どこへでも、お伺いします。ぜひお気軽に、お問い合わせ・お申し込みください。



問い合わせ 県庁総合防災課 ☎073-441-2262

人権尊重の社会づくりをめざして

「和歌山県人権施策基本方針」 8月策定

あらゆる人権侵害や不当な差別が行われることなく、すべての人の人権が尊重される社会をつくることは、私たちみんなの願いです。

しかし、私たちの身の回りでは、依然としてさまざまな人権侵害が存在しています。県では人権尊重の社会づくりをめざして、平成14年4月に「和歌山県人権尊重の社会づくり条例」を施行しました。この条例では、人権尊重の社会づくりに関し、県と県民の責務を明らかにするとともに、人権施策の総合的な推進を図るための基本となる方針を策定することが定められています。このため、県民の皆さんのご意見をいただきながら、「和歌山県人権施策基本方針」を策定しました。

人権尊重の社会づくりには、県民のみなさん、企業やNPOなどの団体、地域のコミュニティや市町村などとの連携・協力が欠かせません。皆さんの主体的・積極的な取組をお願いします。

(方針の内容は県のホームページに掲載しています)



人権相談 相談無料・秘密厳守

かけがえのないあなたのために・・・ 一人で悩まず、気軽にご相談ください

電話相談(人権ホットライン) ☎073-421-7830

毎週月～金曜日 9:00～16:00 (祝日、年末年始を除く)

弁護士相談(面接相談) ☎073-435-5420 ※要予約

毎月第2・4木曜日 13:00～16:00 (祝日の場合その翌日)

DV*(ドメスティック・バイオレンス) 電話相談 ☎073-422-0318

毎週木曜日 10:00～19:30 (祝日、年末年始を除く) ※配偶者等からの暴力

予約・問い合わせ (財)和歌山県人権啓発センター ☎073-435-5420

人権連載

同和問題について

日本の歴史の中で作られた身分差別により、国民の一部の人が、職業や住まい、結婚、付き合い、服装などについて、いろいろな制限をされるという差別を受けてきました。

制度としての身分差別がなくなった近代(明治以降も、特定の地区に住んでいることや、その地区の出身であることを理由に、さまざまな人権侵害を受けているというのが、同和問題です。同和問題は、私たちがすべての国民が憲法によって保障されている「基本的人権」を侵害するものです。

県では、県民の協力のもと、市町村や国とともに問題解決に取り組む生活環境などは大きく改善されてきました。

しかしながら、インターネットを利用した差別表現などに見られるように、差別意識はまだ解消されていません。

また、同和問題は、私たちがそう言うから「就職といった身近なこと」となると、「みんながそう言うから」「世間体があるから」など、本人の人格や能力には関係なく、婚約をやめたり、採用をしなかったりと、時として正しい判断ができなくなることがあります。

結婚差別や就職差別は、人生にかかわる問題です。ときには、命を奪いかねない重大な問題です。

誰も、自分の生まれるところを選ぶことはできません。一人ひとりが、因習や偏見、世間体などにしばられることなく、同和問題を正しく理解し、問題解決に取り組まなければならない。

問い合わせ 県庁人権政策課

世界遺産 ニュース

多くの人に知ってもらい、次世代に引き継ぐ

注目度のアップ

多くの人に理解してもらい、文化の交流や保存につなげます。国内外へのPRや誘客、各種イベントの実施、高野・熊野ブランドの情報発信などに取り組んでいます。

◆リーフレットやパンフレットの作成・配布

◆アジア・欧米に向けた誘客

旅行行程に組み入れてもらうため海外の旅行会社を積極的に誘致

◆大型観光キャンペーンの実施

JRグループと共同で、全国的な宣伝活動とあわせイベントを行い旅行客の誘致を図るもので、本年10月から12月に実施

◆地域資源を活用した新たな世界遺産関連産品の開発支援

◆高野・熊野ゆかりの農産物の振興

◆次代を担う青少年にその魅力を伝えるイベントを実施

◆情報をも的確に提供できるインフォメーション機能の充実

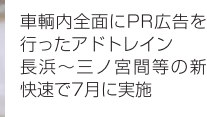
◆標識や案内板、トイレ、休憩施設等の整備・充実、ドライブ周遊ルートの作成

◆観光ガイドを行う語り部の人材養成

◆緊急連絡態勢の確保

◆市町村による保全・活用への取り組みを支援

※こうした取り組みは国の「地域再生計画」としても認定されています。※今年度、すでに実施済のものもあります。



世界遺産の保全・活用への取り組み

わたしたちは、世界遺産となった「紀伊山地の霊場と参詣道^{さんけいみち}」を、人類のかけがえのない財産として良好な形で未来につなげていかなければなりません。また、多くの人に知ってもらうとともに、訪れる人を受け入れる態勢づくりも必要となっています。

県では、「世界遺産の保全・活用プラン」を策定し、より魅力ある地域づくりに取り組んでいます。

問い合わせ 県庁地域振興課 ☎073-441-2374

制度・施策による保全

各資産の現状を維持し、周辺での大規模な開発の抑制や、市町村とともに町並みや森林景観の保全などを行っています。

住民や来訪者による保全

お互いが世界遺産の共通認識を持つことで保全を進めています。

◆訪れる人を守ってもらうルールを作成し、PR

◆参詣道の草刈りや古道のパトロール

◆高校生を対象に現地学習ガイド

◆「高野・熊野ワールドヘリテージレンジャー」を育成

◆公共交通機関を利用する高野山パークアンドライドの実証実験

◆「企業の森」づくりへの取り組み

◆資産や周辺環境を法律や条例に基づき、修理・整備

◆電線の中古化や、建築物等の街並み環境の整備

◆広葉樹植栽による修景整備や間伐による森林環境整備

◆廃棄物不法投棄監視パトロールの重点的な実施

◆モニター制度による河川管理

◆地すべり対策の実施

紀伊山地の参詣道ルール

- 1 「人類の遺産」をみんなで守ります
- 2 いにしえからの祈りの心をたどります
- 3 笑顔であいさつ、心のふれあいを深めます
- 4 動植物をとらず、持ち込まず、大切にします
- 5 計画と装備を完全に、ゆとりをもって歩きます
- 6 道からはずれないようにします
- 7 火の用心をこころがけます
- 8 ゴミを持ち帰り、きれいな道にします



イベント情報

魂への響き

～夜の和歌山城に悠久の明かりと心に響く音～

日時 ①10月2日(土)19:00～
②10月3日(日)18:30～

場所 和歌山城砂之丸広場(和歌山市)

内容 ①鬼太鼓座②地元太鼓グループによるコンサート

高野山音受茶羅

～空海と仏教伝来の歴史をしのぶサウンドスケープ(音風景)～

日時 10月9日(土)～11日(祝)

①メインコンサート＝各日2回公演
②サウンドスケープ＝各日3回演奏

場所 ①金堂②金剛寺、高室院(いずれも高野町)

内容 ①9日＝声明とジャズの共演
10日＝ピアニスト加古隆さんの演奏
11日＝中国琵琶や二胡、尺八の演奏

熊野音絵巻

日時・内容 コンサート

①11月6日(土)木下伸子さんの三味線
②11月13日(土)AUNの和太鼓
③11月20日(土)東儀秀樹さんの雅楽

いずれも17:00～18:30

場所 ①熊野速玉大社(新宮市)②大斎原(本宮町)③那智山青岸渡寺(那智勝浦町)

定員 ①400人②600人③400人 多数の場合抽選

申込 往復ハガキで、住所、氏名、年齢、電話番号、会場への交通手段(公共交通、自家用車、その他)、希望コンサート名1つを10月15日までに県観光連盟「熊野三山コンサート」係

〒640-8585和歌山市小松原通1-1
※当選ハガキ1枚につき2人まで入場可

以上のイベントのお問い合わせは
県大型観光キャンペーン推進協議会
☎073-422-4631

特別展「祈りの道～吉野・熊野・高野の名宝～」

関係寺社が所蔵する名品を特別公開

日時 10月1日～11月3日9:30～17:00

休館 月曜(休日の場合は翌日)、第4火曜日(休日を除く)

場所 名古屋博物館(名古屋市)

問合せ 会場☎052-853-2655

ひととよう 一青窈スペシャルライブ

日時 10月2日(土)17:00開場(雨天の場合翌日)

場所 大斎原(本宮町)

費用 無料 ※要入場整理券(2人まで入場可)多数の場合抽選

申込 往復ハガキで、住所、氏名、年齢、電話番号を9月15日までに県文化振興財団内「一青窈コンサート」係

〒640-8269和歌山市小松原通1-1
申込先☎073-436-1331
http://www.wacaf.or.jp/

語り部が高野・熊野の魅力をさらにPR!

現地に詳しい「語り部」の案内によって参詣道の歴史や自然に触れて歩くことで、より満足がいく旅となります。そのため、県では、不足しつつある語り部の新規養成を行う講習会を開始しました。受講者は、研修後に先輩が活動する語り部組織等に参加していく予定です。

一番の思い出は旅先で受けた親切

旅先での親切や人情は忘れられない思い出になります。宿泊施設や観光施設、バス・タクシー等でのサービスはもちろんですが、わたしたち一人ひとりのもてなしがなんとと言っても旅の印象となります。「こんにちは」「何かお困りですか」と気軽に一言、声をかけてください。

伏拝王子前の休憩所でもてなしを实践

伏拝婦人会おもてなしグループの皆さん

「地域おこしにつなげればと、メンバー十数人が交代で休日におもてなしをしています。古道の話をしたり、お茶を出したり、「お気をつけて」などの声かけをしています。訪れる人にはゆっくりとこの地域を見てもらうて素晴らしいさを感じてほしいですね」

各振興局代表電話

海草…県庁代表と同じ
那賀…☎0736-63-0100
伊都…☎0736-34-1700

有田…☎0737-63-4111
日高…☎0738-22-3111
西牟婁…☎0739-22-1200
東牟婁…☎0735-22-8551

和歌山県のホームページは <http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

県庁・県教育委員会への

郵便は〒640-8585(県庁専用郵便番号、住所記入不要)〇〇〇課まで

電話は ☎073-432-4111

時…期日・時間 場…場所・会場 定…定員 対…対象・資格 費…費用 申…申込・応募方法 問…問い合わせ 抽…希望者多数の場合抽選 ※の機関・施設は県庁の敷地内にはありませんのでご注意ください

募集

講座・セミナー・講習など

ライフスタイルを考える
人権セミナー

講演「心のストレスとのつきあい方」

講師 篠崎和弘県立医大教授

時 9月11日(土)14:30～16:30

場 和歌山大学生涯学習教育研究センター(和歌山市)

定 90人(先着順)

申 電話、FAX、Eメールで住所、氏名、電話番号を※県人権啓発センター☎073-435-5420 FAX073-435-5421

Eメール kokoro@w-jinken.jp

問 申込先

消防設備士講習

時・場 10月22日＝西牟婁振興局(田辺市)、10月26～29日、11月2日＝県民文化会館(和歌山市)

※講習区分により講習日を指定

対 消防設備士免状取得後2年以内又は前回受講後5年以内の方

申 10月4～7日に持参で※県消防設備保守協会、振興局地域行政課(海草を除く)

問 県消防設備保守協会☎073-402-2657

意見募集など

食の安全タウンミーティング

行政担当者と不安や疑問点の意見交換を行い、安全を共に考える

時・場 橋本会場＝10月14日(木)伊都振興局(橋本市) 有田会場＝10月20日(水)有田市文化福祉センター 田辺会場＝10月26日(火)田辺市民総合センター

※いずれも13:30～15:30
定 各会場とも100人(先着順)
申 ハガキ、FAX、Eメールで住所、氏名、職業、電話番号、希望会場、意見交換したい内容を9月30日までに県庁食品安全企画課FAX073-441-2639 Eメール

福祉関係など

障害者パソコンボランティア

①派遣希望者

対 身体障害のある方で、自宅でパソコン操作の指導を希望する方

②養成講座受講希望者

時 9月18・19日10:00～15:00

対 障害のある方の自宅でパソコン操作を指導するボランティア活動希望者

場 県身体障害者総合福祉会館(和歌山市)

申・問 ※県身体障害者連盟☎073-423-2665 FAX073-428-0515

近畿地区著作権セミナー

時 11月18・19日 2日間

場 県勤労福祉会館プラザホープ(和歌山市)

対・定 一般 300人 抽

申 9月21日までに県教育委員会文化遺産課

問 申込先

口腔衛生研修会

時 10月3日(日) 13:30～

場 県障害児(者)・高齢者歯科口腔保健センター研修室(和歌山ビッグ愛内 和歌山市)

対・定 障害のある方・高齢者及びその家族 20人(先着順)

申・問 9月21日までに県歯科医師会 ☎073-428-3411、県庁医務課

県立文書館歴史講座

和歌山の歴史・文化に関する講座

時 10月24・31日、11月7日(各日曜) 全3回 13:30～15:30

場 きのくに志学館(和歌山市)

定 60人(先着順)

申 往復ハガキで住所、氏名、電話番号を10月13日までに県立文書館〒641-0051和歌山市西高松1-7-38きのくに志学館内

問 申込先☎073-436-9540

e0316001@pref.wakayama.lg.jp

問 申込先

県立高等学校再編整備計画案に対する意見

今後の高等学校の在り方を示した計画案に対する意見を募集

閲覧場所 県教育委員会総務課、県庁情報公開コーナー、県教育委員会ホームページ

申 郵便、FAX、Eメールで住所、氏名、年齢、電話番号を9月21日までに県教育委員会教育政策室 FAX073-432-4517 Eメール e5001001@pref.wakayama.lg.jp

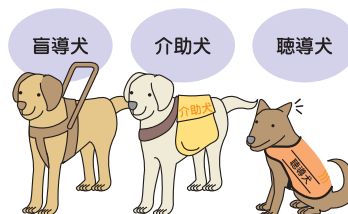
問 申込先

身体障害者補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)給付希望者

対 視覚障害1級、肢体不自由1級又は聴覚障害2級の身体障害者手帳を所持し、所定の要件(補助犬の管理可能等)をすべて満たす方

申 9月24日までに振興局生活福祉課、県庁障害福祉課

問 申込先



地域日本語支援コーディネータ研修

外国人に日本語指導を行うグループリーダーを養成

時 9月25・26日 各10:00～17:00

場 県国際交流センター(和歌山ビッグ愛内 和歌山市)

対 日本語指導経験等のある方

定 30人 抽

申 所定の申込書をハガキ、FAX、Eメールで9月14日までに県国際交流協会〒640-8319和歌山市手平2-1-2和歌山ビッグ愛8階 FAX073-435-5243 Eメール okubo@wixas.or.jp

問 申込先☎073-435-5240

地球温暖化防止活動推進員養成講座

対 知識・技能等を修得後、ボランティアとして活動できる方

時 12月12日、1月16・23日、2月6・27日、3月6日(各日曜) 全6回

場 書道資料館(和歌山市)

定 40人(多数の場合選考)

申 所定の申込書を郵送、FAX、Eメールで10月31日までに県庁環境生活総務課 FAX073-433-3590 Eメール e0317001@pref.wakayama.lg.jp

問 申込先、県ホームページ

和歌山県PCB(ポリ塩化ビフェニル)廃棄物処理計画案に対する意見

PCB廃棄物の適正・確実な処理をめざした計画案に対する意見を募集

閲覧場所 県庁廃棄物対策課、県立保健所、県ホームページ

申 郵便、FAX、Eメールで住所、氏名、電話番号を9月30日までに県庁廃棄物対策課 FAX073-441-2685 Eメール e0322001@pref.wakayama.lg.jp

問 申込先

ひとり親家庭日常生活支援員

①派遣希望者

内容 自立のための修学や病気等の時、家庭生活支援員を派遣し、生活援助や保育サービスを実施

対 母子、寡婦及び父子の各家庭(和歌山市在住の方は和歌山市役所へ)

費 有料(支援内容等により決定)

②活動希望者

内容 ひとり親家庭への生活援助、保育サービス

資格 生活援助＝ホームヘルパー3級以上の資格を有する方

子育て支援＝保育士資格を有する方

手当 支援内容・時間数に応じ支給

申・問 県庁子育て推進課

バスツアー・イベントなど

紀の川水土里ウォーク

井堰、用水路、世界遺産の高野山町石道などを徒歩で見学

時 10月16日(土)9:30～15:00

場 高野口町役場集合・解散 約9.3Km

対 小学4年生～一般

(小学生は保護者同伴)

定 120人 抽

申 ハガキ、FAXで住所、氏名(ふりがな)、年齢、学校名・学年、保護者名、電話番号を、9月24日までに水土里ネット和歌山〒640-8249 和歌山市雑賀屋町1 FAX073-433-1490

問 県庁農村計画課

紀の川土木施設見学

紀の川流域下水道伊都浄化センターと紀の川大堰を見学

時 10月24日(日) JR和歌山駅東口から9:20にバス出発

対 小学3年生～一般

(小学生は保護者同伴)

定 60人 抽

その他

メキシコ研修生(日墨交流)

メキシコ国立シナロア自治大学でのスペイン語学習及び開設の講座を聴講

派遣時期 平成17年8月～最長12カ月

対 22歳以上35歳未満の県内在住の心身共に健全で次の全てを満たす方①日本国籍②単身渡航が可能③スペイン語堪能④大学卒業者又は準じる資格の者

定 1人(選考)

申 所定の申込書に研修計画書、履歴書、卒業証明書、写真(4cm×5cm)を添え、9月16日までに県庁文化国際課

問 申込先

瀬戸内海環境保全月間ポスター

テーマ 瀬戸内海のイメージや環境保全の大切さ

規格 四つ切りの縦長

申 作品裏面に住所、氏名、年齢、学校名・学年等を記入し、11月30日までに瀬戸内海環境保全協会〒651-0073神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1国際健康開発センター内

問 県庁環境管理課

分譲住宅・分譲地

※各団地先着順受付中

※お客様紹介キャンペーン実施中

【分譲住宅】

①西庄・夢タウン(和歌山市)

【宅地分譲(住宅付も可)】

②岸宮サニータウン(貴志川町)

費 無料 ※昼食は各自持参

申 往復ハガキ(5人まで連記可)で、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を、9月30日までに県庁県土整備総務課

問 申込先

確かめよう!食の安全ツアー

生産者・流通関係者の取組を見学

時・場 ①日高・西牟婁方面＝10月22日(金) 紀伊田辺駅集合

②日高・有田方面＝11月5日(金) 有田振興局集合(湯浅町)

③那賀・伊都方面＝11月11日(木) 那賀振興局集合(岩出町)

※各集合場所から8:30(①は9:00)にバス出発

対 15歳以上の県内在住者

※1～8歳の保育ルームあり

※昼食は各自持参

定 各40人 抽

費 無料

申 往復ハガキ(2人まで連記可)で住所、氏名、年齢、電話番号、保育希望の有無、希望方面1カ所を9月30日までに県庁県民生活課

問 申込先

- ③長山団地(貴志川町)
④木ノ本ニュータウン(和歌山市)
⑤粉河栄町団地(粉河町)
⑥しもつ夢タウン(下津町)
⑦新宮蜂伏団地(新宮市)
⑧花野団地(打田町)
※現地案内会を9月18～20日に①、②、③で実施
申・問 ※県住宅供給公社☎073-425-6885

住まいの総合相談

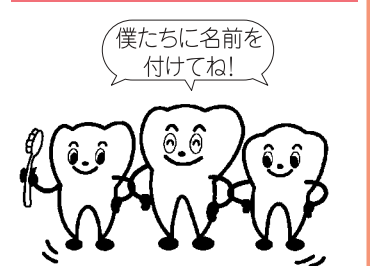
専門的立場で住まいのトラブルにNPOがお答えします

時・場 10月16日(土)＝J A 会館(和歌山市) 10月23日(土)＝紀南文化センター(田辺市)

※事前申込要

問 県庁県民生活課

歯周病検診キャラクターの名称



歯周病の予防には、毎日のブラッシングと定期的な検診が大切です。市町村で実施している歯周病検診をPRするキャラクターの名称を募集

申 ハガキで住所、氏名、年齢、電話番号、名称を10月20日までに県庁健康対策課

問 申込先

試験

県立医大病院助産師・看護師

資格 有資格者(取得見込者含む)

勤務場所 医大附属病院(和歌山市)・紀北分院(かつらぎ町)

定 135人程度

時 10月23日(土)

申 9月24日までに県立医科大学総務課

問 県立医科大学看護部管理室 ☎073-447-2300、紀北分院看護部長室 ☎0736-22-0066

県農業大学校入学

時 ①推薦＝12月1日(水)9:00～
②一般1次＝1月12日(水)9:00～

対 県内在住で23歳以下の高校卒業(見込)者

願書配布 県農業大学校(かつらぎ町)

申 ①11月8～30日、②12月15～28日に県農業大学校

問 申込先 ☎0736-22-2203、県庁就農促進課、地域農業改良普及センター

県立高等技術専門校入校

時 10月29日(金)9:30～

対 高校卒業(見込)者等

願書配布 各高等技術専門校、公共職業安定所

申 10月1～12日に各校

体験入校 9月11日(土)

問 ●和歌山高等技術専門校 ☎073-477-1253 ●田辺高等技術専門校 ☎0739-22-2259 ●新宮高等技術専門校 ☎0735-31-7329

危険物取扱者

種類 乙種4類、丙種

時 11月7日(日) 9:30～

場 和歌山工業高校(和歌山市)

願書配布 9月1～30日に県庁消防保安課、振興局地域行政課、消防本部、消防試験研究センター和歌山県支部

申・問 ※消防試験研究センター和歌山県支部 ☎073-425-3369

砂利採取業務主任者

時 11月12日(金) 10:00～

場 県民文化会館(和歌山市)

願書配布 9月21日～10月8日に県庁河川課、振興局建設部

申・問 願書配布場所

調理師

時 10月31日(日)13:00～15:30

場 県内5会場 (和歌山市・かつらぎ町・有田市・田辺市・新宮市)

願書配布 保健所、県庁生活衛生課

申 9月13～17日に願書配布場所

問 願書配布場所

9月21～30日 秋の全国交通安全運動

交通安全フェア2004

楽しみながら学ぶ交通安全
時 9月23日(祝)13:00～(荒天時は25日)
場 和歌山交通公園(和歌山市)
問 会場 ☎073-472-7690
交通センター ☎073-473-0110、県庁県民生活課



第37回 和歌山県民文化祭

92の催しを紹介した「県民文化祭総合リーフレット」を県庁文化国際課、振興局県民行政部総務課、市町村役場、県民文化会館・紀南文化会館などの公立文化施設等で配布中です。ぜひ多くの催しにご参加ください。

総合的な問い合わせは、県庁文化国際課 ☎073-441-2052

※催しの一部をご紹介します。

●木下伸市
フュージョンコンサート
時 9月18日(土)17:30～
場 貴志川町生涯学習センター
費 1,500円
申・問 貴志川町教育委員会 ☎0736-64-2273

●心に響く東洋の美音
中国民族楽器の調べ
時 9月22日18:00～
場 白浜会館(白浜町)
費 前売 一般 1,000円
小中学生 500円
申・問 白浜町教育委員会 ☎0739-43-5555



北方領土返還要求運動の標語 粘り抜く 熱意と対話で 四島返還

ごあんない

宝くじまちの音楽会 ～サーカスとともに～

時 9月18日(土)18:00～
場 紀南文化会館(田辺市)
費 前売 一般 2,000円
高校生以下 1,000円
問 会場 ☎0739-25-3033

宝くじ文化公演 「宗次郎オカリナコンサート」

時・場 ①9月23日(祝) かつらぎ総合文化会館(かつらぎ町)
②9月24日(金) 美里町文化センター ※ともに18:30～
費 前売 2,000円
問 各会場 ① ☎0736-22-0303、
② ☎073-495-9055

空の日フェスタ2004／南紀白浜

国内初複葉機飛行、曲技飛行、航空機展示、管制塔見学会等
時 10月3日(日) 10:00～16:00
場 南紀白浜空港(白浜町)
問 南紀白浜空港管理事務所 ☎0739-42-2348

吉野熊野食フェア スタンプラリー

和歌山・奈良・三重にまたがる吉野熊野地域の15の道の駅で地域の食をPRするフェアとスタンプラリーを11月末まで開催。楽しいイベントも実施しています
問 吉野熊野地域振興協議会(奈良県地域政策課内) ☎0742-27-8473

県推奨映画「ウィニング・パス」

中田新一監督
内容 下半身不随になった主人公が車いすバスケットとの出会いによって新しい人生への挑戦を行おうとする模様を描いた作品
問 県庁青少年課

歌謡り「ぶんざ」公演

和歌山の先人紀伊国屋文左衛門の活躍を描く 作・音楽 小椋佳さん
時 12月3日(金)18:30～
場 県民文化会館(和歌山市)
費 前売 一般2,000円 学生1,000円
問 県文化振興財団 ☎073-436-1331



犯罪被害者フォーラム

講演「被害者の声に耳を傾け明日への希望を示そう」講師 三木義彦氏(神戸松蔭女子学院大学教授)
時 10月1日(金)13:30～16:30
場 県民文化会館(和歌山市)
問 ※紀の国被害者支援センター ☎073-427-2100

保育士資格の登録

保育士の業務を行っている方は平成18年11月末までに県に登録申請を行わなければなりません
今後、業務を行う予定の方も登録する必要があります
※登録しなくても資格は失いません
問 県庁子育て推進課

終戦後、外地からの引揚時に預った通貨・証券等を返却

問 ※和歌山税関支署 ☎073-428-3881～3、同新宮出張所 ☎0735-31-5258、大阪税関監視部 総括部門 ☎06-6576-3115

戦傷病者等の妻の方への特別給付金

●平成5年4月2日以降に戦傷病者と婚姻した妻又は同日以降に障害給付を受け始めた戦傷病者の妻で、平成13年4月1日に戦傷病者である夫が増加恩給等を受けていた方
●平成8年5月に最終償還を迎えた戦傷病者等の妻に対する特別給付金の受給権を取得した妻で、夫が平成5年4月から平成8年9月末までに公務傷病以外の原因により死亡した方
請求期限 平成16年9月30日
問 市町村役場、県庁福祉保健総務課

動物愛護週間 (9/20～26) 動物愛護を楽しく学ぶイベント

WAWフェスタ in 動物愛護週間
時 9月18～20日10:00～17:00
場 県動物愛護センター(野上町)
問 会場 ☎073-489-6500

動物愛護フェスティバル in たなべ

時 9月23日(祝)13:00～16:00
場 紀南文化会館(田辺市)
問 県庁生活衛生課、県獣医師会 ☎073-436-4529

9月9日は救急の日

救急車を呼ぶほどでもない時は「かかりつけ医」、休日・夜間なら各地域の休日夜間急患センターへ、また、どこで受診すればよいかわからない時には救急医療情報センターへ連絡してください。

救急医療情報センター

☎073-426-1199 24時間体制

県立図書館紀南分館 開館日のお知らせ

県立情報交流センター(Big・U)への移転のため、開館等の日程が変わります。 問 紀南分館 ☎0739-22-2061

通常開館	貸出をしない開館	全面休館
9月15日まで	9月16～30日	10月1日～12月26日

紀の国ふれあいバス参加者募集

時・コース

①10月13日(水)＝県立博物館(特別展「空海と高野山」)(和歌山市)→長久邸・藤白神社・黒江の町並み散策・時絵体験(海南市)
②10月15日(金)＝林業試験場(上富田町)→中辺路美術館・熊野古道散策(1時間程度)(中辺路町)
※JR和歌山駅東口から①は9:00に、②は8:30にバス出発

定 各40人 (抽)

費 ①2,000円
②2,200円
(昼食代・入館料・保険料等)
申 ハガキ(4人まで連記可)で住所、氏名、年齢、電話番号、希望日を、9月17日までに県庁広報室
問 申込先

催し

県立近代美術館 ☎073-436-8690
休館／月曜(祝日の場合翌日)

■特別企画展「ピノッキオ その誕生から現代まで」
～9月23日(祝)
■「コレクション展2004-夏」 ～9月26日(日)

県立博物館 ☎073-436-8670
休館／月曜(祝日の場合翌日)

■開館10周年記念特別展「きのくにの歴史と文化」
第4期 近世の芸術と学問 ～9月23日(祝)

県立紀伊風土記の丘 ☎073-471-6123
休館／月曜(祝日の場合翌日)

■速報展「紀州の歩み」 ～9月23日(祝)
■子ども歴史クラブ「塩を作る土器を作ろう」
9月11日(土)13:00～15:00 対 小学3～6年生 当日受付
■ふどき講座「塩の考古学」
10月2日(土)13:00～14:30 定 40人 費 入館料 当日受付

県植物公園緑花センター ☎0736-62-4029
休園／火曜(祝日の場合翌日)

■秋の野の花を器に飾る※ 9月25日(土)
■ラベンダーの壁飾り作り※ 9月26日(日)
■キノコ観察会※ 10月3日(日)
■野の花を飾る教室展9/26、キノコ展10/2～3、
秋の原色押し花展10/6～27
※は事前申込必要

県動物愛護センター ☎073-489-6500
休館／火曜

■いぬ・ねこ譲渡講習会
9月26日(日)、10月14日(木) 14:00～
※申込不要、講習を受けなければ譲渡できません

県公館 一般公開 ☎073-441-2214
問 県庁管財課

9月26日(日)、10月10日(日) 10:00～16:00
※駐車場はありません。バス停「不老橋」下車徒歩1分

お気軽にどうぞ

交通事故相談 ☎073-441-2359

【常設相談】月～金曜日 場所／県庁交通事故相談所、東牟婁振興局(水曜日を除く☎0735-22-8551)
【弁護士による相談】電話予約必要●県庁交通事故相談所
9月27日(月)、10月4日(月) 受付／13:00～14:00
●東牟婁振興局 9月17日(金)、10月1日(金) 受付／正午まで
【巡回相談】伊都振興局9月22日(水) 受付／11:00～15:00

県民相談 ☎073-441-2356

【常設相談】月～金曜日 場所／県庁県民相談室
【弁護士による相談】県庁県民相談室 ※先着各20人
●9月28日(火)<☎予約9/21～> ●10月8日(金)<☎予約9/29～>
●10月19日(火)<☎予約10/12～>
【移動相談】※各先着10人(予約開始日に注意)
●10月14日(木)金屋町・文化保健センター
<☎予約9/30～有田振興局0737-64-1255>
●10月21日(木)上富田町・大谷総合センター
<☎予約10/7～西牟婁振興局0739-26-7909>

高齢者相談 ☎073-435-5212

【常設相談】月～金曜日
【専門相談】※日時はお問い合わせください
【弁護士による相談】9月17日(金)(電話予約必要)
場所／県高齢者総合相談センター(和歌山ビッグ愛7階)

医療安全相談 ☎073-441-2611

【常設相談】月～金曜日 場所／県庁医務課
※各県立保健所(支所)総務課でも実施しています
【弁護士による相談】9月30日(木)、10月15日(金)
13:00～17:00 場所／県庁医務課 ※事前予約必要

県政広報番組のお知らせ

県の施策や地域の特集

テレビ		
テレビ和歌山(WTV)		
きのくに21	日曜日	9:30、(再)22:00
ラジオ		
和歌山放送(WBS)		
県民マイク	土曜日	14:30

世界遺産登録記念特別番組 テレビ和歌山
「たからをうけつぐ」-紀伊山地の霊場と参詣道-
9月 4日(土) 15:00～15:30
(再)9月11日(土) 10:00～10:30

障害者技能競技大会の開催

和歌山市

7月、ポリテクセンター和歌山を会場に、第2回和歌山県障害者技能競技大会(アビリンピック和歌山2004)が行われました。

アビリンピックは、障害者が技能労働者として社会に参加する自信と誇りを持つことができるよう、職業能力の向上と雇用の促進を図ることを目的として開催されています。

当日はワープロや喫茶サービス競技など3種目に、24人の選手による熱戦がくり広げられました。今回の大会で優秀な成績をおさめた人は、今秋、宮城県で開催される全国大会の出場候補として推薦されます。



9月は障害者雇用支援月間 問 県庁雇用推進課

自然博物館

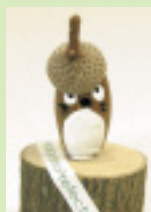
休館／月曜(祝日の場合翌日)

底びき網を体験しよう

時 10月23日(土)9:00～14:00
場 田野浦漁港(和歌山市)から底びき網漁船に乗船
対・定 18歳以上 10人 (抽)
費 1,500円(乗船料・保険料等)
申 往復ハガキで10月9日までに問合先

ドングリころころ工作教室

時 10月24日(日)
13:00～16:00
対 小学生～一般
定 30人 (抽)
申 往復ハガキで10月9日までに問合先



申・問 住所、氏名、年齢、電話番号、参加希望行事名を記入し県立自然博物館
〒642-0001海南市船尾370-1
☎073-483-1777

県政ポスト



これまでに寄せいただいた意見の主な内訳

内容分類	件数
教育やスポーツなど	224
道路・交通関係	187
福祉・医療関係	170
情報化推進関係	122
商工・観光・労働関係	109
農林水産や緑の雇用事業	108
環境関係	89

青少年の家

北 野外レストラン

時・メニュー 9月25日(土)=生春巻き・フォー 10月9日(土)=揚げパン
定 各50人 (抽)
費 1,000円程度
申 開催日の5日前までに会場

北 天空伝説～大空の支配者～「パラグライダー」

時 10月2～3日 1泊2日
対・定 中学生～一般 30人 (抽)
ただし体重40～90kgで身長145cm以上の方に限る
費 12,000～14,000円
申 9月18日までに会場

白 感動体験! ファミリーフィッシング

アジ・メジナ・カサゴ釣りに挑戦
時 10月9～10日 1泊2日
対 小学5年～中学生とその家族
定 30人(保護者除く) (抽)
費 一人3,500～4,070円
申 9月30日までに会場

北 ネイチャーライフINきほく・秋さつまいも収穫、野外炊飯など

時 10月16～17日 1泊2日
対・定 小学4年～中学生40人 (抽)
費 3,000円
申 10月5日までに会場

潮 ワイルドキャンプ

森や海浜の探検、野外炊飯など
時 10月16～17日 1泊2日
対・定 小学4年～中学生30人 (抽)
費 3,000円
申 10月2日までに会場

ハガキ・FAXで申し込む場合

参加者全員の住所、氏名、年齢(学年)、電話番号、保護者名、希望講座名を記入してください。

申込・問合先

北 = 紀北青少年の家
〒649-7112 かつらぎ町中飯降1317-3
☎0736-22-5530
FAX0736-22-5531
白 = 白崎青少年の家
〒649-1123 由良町大引961-1
☎0738-65-2351
FAX0738-65-2352
潮 = 潮岬青少年の家
〒649-3502 串本町潮岬669
☎0735-62-6045
FAX0735-62-0182

皆さんが日頃県政に望まれていることや、県政に対するご提案やご意見・ご質問など、どしどしお便りをお寄せください。(個人のプライバシーは保護されていますので、他に流用したり、公表したりすることはありません。) これまでも、道路やITなどの基盤整備、福祉や教育のことなど、たくさんのご意見をいただき、できる限り施策に反映させていただきました。

お手紙、お葉書

〒640-8585(県庁専用郵便番号、住所記入不要) 和歌山県庁「県政ポスト」係

ファックス

FAX 073-441-2020 和歌山県庁「県政ポスト」係

Eメール(インターネット)

知事と親しメール

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/chiji/mail/>

問 県庁広報室 ☎073-441-2034

